

社会科指導案

日時 平成24年10月4日(木) 5校時
学級 1年A組(男子18名 女子18名計 36名)
場所 1年A組教室
指導者 教諭 千葉芳宏

1. 単元名 武士の台頭と鎌倉幕府

2. 単元について

歴史的分野の目標は4項目からなっており、その(1)として、「歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色をふまえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を、広い視野に立って考えさせると共に、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を高める。」とある。

本単元の目標は、平安時代の社会から生まれた武士が、しだいに力をつけ、鎌倉幕府が成立するにいたる経緯のあらましと、守護、地頭の設置や承久の乱などにより、幕府の支配が全国に広まっていく過程を理解させることにある。まさに、歴史の流れが大きく変わる転換期であり、中国を始め、東アジア諸国の影響を大きく受ける時期である。力をつけていった武士の生活や民衆の動きをとらえさせながら、鎌倉時代の文化と仏教に見られる、新しい動きを理解させることも大切である。

このように、鎌倉時代は、武家政権が樹立され、武家社会が発展していく時代であるが、その初期段階では、まだまだ、朝廷の力は強いものがあり、幕府と朝廷の二重支配の構造は続いていた。「承久の乱」は、武士の支配力を強固なものにする転機の出来事であり、封建社会がその後明治維新まで続くことを考えると、乱のもつ意味は大きいといえる。御家人の立場や信条をとらえさせながら、歴史に対する興味・関心を高めるていきたい。

3. 生徒について

小学校では、源平の合戦や源義経の活躍、全国に守護、地頭を置いた源頼朝が、鎌倉に幕府を開き、武士による政治が始まったことを学習している。

本単元の学習では、それらの既習事項の学習をふまえ、幕府と朝廷の二重支配に焦点をあてながら、次第に幕府の力が、全国に広がっていく過程を、様々な資料を活用させながら、考察させたい。

本学級の生徒は、明るく、素直であり、級友を思いやる気持ちも強い。自分の意見を素直に発表できる雰囲気があり、学習に対してはまじめに取り組もうという姿勢が見られる。今回の授業は、多角的・多面的に考察させる学習であり、各自が自分の考えを持ち、お互いの考えを交流する過程を通して、理解の深化を図る学習である。普段の学習では、社会科を得意とする生徒たちが授業を引っ張る傾向が強いため、本時の学習では、4人の小集団によるグループ学習を取り入れ、一人一人の発言が生かされるよう指導過程を組みあげることにした。

また、自分の考えを上手く発言で表現できない生徒もいるため、学習シートを活用し、自分の考えを文章で表現させることにより、思考の過程を把握したいと考える。学習の成果は、本時の学習でわかったことを文章で自分の言葉を使って表現させることで確認させたい。

4. 単元の目標

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ・武士が台頭し、武家政権が成立したことや、鎌倉時代の武士や民衆の動きに対する関心を高め意欲的に学習している。
- ・鎌倉時代の新しい文化と仏教に対する関心を高め、現在との結びつきについて意欲的に学習している。

【社会的な思考・判断・表現】

- ・武士が台頭し、武家政権が成立して、武士の支配がしだいに全国に広まり、武家社会が発展しいったという時代の流れを、幕府と朝廷の関係、土地制度の変化などから、多角的・多面的に考察している。
- ・鎌倉時代に新しい文化と仏教が生まれたことを、武士や民衆の動きと関連させて、多角的・多面的に考察している。

【資料活用の技能】、

- ・ 武士が台頭し、武家政権が成立したことと、鎌倉時代の武士や民衆の動き、鎌倉文化に関する様々な資料を活用している。

【社会的事象についての知識・理解】

- ・ 武士が台頭し、武家政権が成立して、武士の支配がしだいに全国に広がり、武家政権が発展していったことを、理解している。
- ・ 鎌倉時代の新しい文化や仏教の特色を理解している。

5. 単元の指導計画

時間	学習内容	評 価 規 準			
		社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・ 表現	資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
1	武士の成長① 武士の登場 武士団と荘園				武士のおこりと成長から、武家政権の成立までの経過について理解している。
2	武士の成長② 院政と武士		武士が成長していった理由を、荘園と公領からなる新しい土地制度や政治の動きとの関連から考察している。		
3	武家政権の成立① 源平の争乱 鎌倉幕府の始まり	武士の生活や生き方に 関心を持ち、意欲的に 学習している。	鎌倉に幕府が開かれる過 程を、考察している。		将軍と御家人の関係を理 解している。
4	武家政権の成立② 執権政治 承久の乱 本 時		承久の乱で、朝廷と幕府 の力関係や将軍と御家人 の関係を考察している。		・ 北条氏の台頭と執権政 治のようすを理解して いる。 ・ 承久の乱のあと、幕府 の力が拡大したことを 理解している。
5	武士と民衆の生活			絵巻物などの資料から、 武士の生活の様子を読み 取っている。	鎌倉時代の農業技術や手 工業、商業の発達とそれ に伴う生活の向上につい て理解している。
6	鎌倉時代の文化と 宗教	鎌倉時代の文化につい て意欲的に調べている。	鎌倉仏教が多くの人々の 心をとらえて広まったこ とを、教えの特色や社会 の動きと関連させて考察 している。	。	

6. 本時の指導

(1) 本時の目標

①北条氏の執権政治の様子を理解する。

②承久の乱における御家人の行動の考察を通して、朝廷と幕府の二重支配の様子と、その後の幕府の力の拡大について理解する。

(2) 本時の授業構想

教える段階では、頼朝の死後、実権が北条氏に移り、執権政治が始まったこと、後鳥羽上皇が倒幕をめざし、承久の乱を起こした経緯を理解させる。

理解深化の場面では、上皇と幕府という二重支配における御家人の立場について心情的にとらえさせながら、武士の主従関係による結びつきの強さに気付かせたい。上皇方の敗北により、幕府の支配が西国に広がったことに気付かせたい。

(3) 評価の観点と評価規準

	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
社会的事象についての知識・理解	北条氏の台頭と執権政治の様子を自分の言葉で説明できる。	北条氏の台頭と執権政治の様子を言葉で説明できる。	北条氏の台頭と執権政治の関係をもう一度、わかりやすく説明する。
社会的事象についての知識・理解	承久の乱の後、幕府に力が西国に広がった過程を自分の言葉で説明できる。	承久の乱の後、幕府に力が西国に広がった過程を説明できる。	承久の乱の後、幕府に力が西国に広がった過程をもう一度説明する。
社会的な思考・判断・表現	承久の乱で、朝廷と幕府の力関係や将軍と御家人の関係を自分で考察し、自分の考えをいえる。	承久の乱で、朝廷と幕府の力関係や将軍と御家人の関係を考察している。	承久の乱で、朝廷と幕府の力関係や将軍と御家人の関係を、もう一度説明する。

(4) 本時の展開

		学 習 活 動 と 留 意 点	評価及び教材・教具等
教 え る	教師の説明 15分	①前時の学習についてふりかえる。 *鎌倉幕府の支配体制 守護と地頭 *将軍と御家人の関係 御恩と奉公 ②執権政治の始まりについて理解する。 *源頼朝の死後の幕府の様子 *北条時政による執権政治の開始 ③承久の乱について理解する。 *上皇対幕府	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【知識・理解】 北条氏の台頭と執権政治の様子を理解している。 </div> A 北条氏の台頭と執権政治の様子を自分の言葉で説明できる B 北条氏の台頭と執権政治の様子を言葉で説明できる
	理解確認 5分	④学習内容を確認する。 執権政治と承久の乱について確認する。 *北条時政、執権、後鳥羽上皇、承久の乱 ⑤学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 承久の乱は、鎌倉幕府にどのような影響を与えたのだろうか。 </div>	
考 え 深 さ 化 せ る	理解 5分	⑥御家人の立場から、後鳥羽上皇方につくか、北条政子につくかを考える。 *後鳥羽上皇の院宣 *北条政子の訴え (1) 自分の考え・・・個人でまとめる (2) 班の体制になり、話し合い活動・・・意見の交換 (3) 各班の発表 (4) 全体での意見交換	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【思考・判断・表現】 幕府と朝廷との力関係将軍と御家人の関係を考察している。 </div> A 幕府と朝廷との力関係将軍と御家人の関係を自分で考察して自分の考えをいえる。 B 幕府と朝廷との力関係将軍と御家人の関係を察している。
	25分	⑦承久の乱の結果について理解する。 *幕府側の勝利、後鳥羽上皇の流刑 *六波羅探題の設置 ⑧学習課題のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 承久の乱で、幕府側が勝利したことにより、幕府の支配が、西国に広がった。 </div>	
	自己評価 5分	⑨今日の学習を通して、わかったことをまとめる。 (1) 承久の乱が歴史に与えた影響に触れながら、今日の学習で学んだことを振り返り、まとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【知識・理解】 承久の乱の後、幕府の力が広がったことを理解している。 </div> A 幕府の力が広がったことを自分の言葉で説明できる B 幕府の力が広がったことを説明できる